

市立四日市病院E S C O事業に係る提案審査講評

四日市市では地球温暖化の防止に向けて環境負荷の低減に努め、温室効果ガスの排出量を削減する取り組みを進めています。こうした中、市立四日市病院（以下「病院」という。）においては、省エネルギー化を図り二酸化炭素排出量と光熱水費を削減するための効果的な手段として、民間のノウハウを活かしたE S C O事業を導入することにしました。

独自性のあるE S C O提案を一般公募したところ、アズビル株式会社・株式会社シーエナジーの2者からなる1グループから応募提案がありました。

その内容は、病院が指定工事としたボイラ及びサーバー室用空調機の更新のほか、照明のLED化、ポンプ及び空調機のインバータ化などによる運転制御の最適化を省エネルギー手法とした、省エネルギー率11.9%を見込むものでした。

病院の特性上、制約が多く厳しい条件であったと想定されますが、応募者の創意工夫によって具体性及び妥当性があり、根拠が明確で信頼性の高い提案となっていました。

この提案について、「市立四日市病院E S C O事業提案審査要領」に基づき、応募者によるプレゼンテーションを実施するとともに提案の審査を行いました。

その結果は、病院が要求する水準に達しており十分期待に添うものであったことから最優秀提案とし、優先交渉権者とするものとしました。

今後は、優先交渉権者が病院と協働し、病院が求めるより高品質なサービス提供に努めることを期待します。

平成30年2月14日

市立四日市病院E S C O事業プロポーザル審査委員会

- | | | |
|-----|-----|--------------------------------|
| 委員長 | 社河内 | 敏彦（三重大学 名誉教授、三重大学大学院工学研究科特任教授） |
| 委員 | 唯見 | 直矢（税理士 東海税理士会四日市支部） |
| 委員 | 小山 | 善丸（四日市市環境部 環境保全課課長補佐） |
| 委員 | 中野 | 文裕（四日市市上下水道局技術部 施設課副参事） |
| 委員 | 金城 | 昌明（市立四日市病院 副院長） |
| 委員 | 村上 | 孝夫（市立四日市病院 事務長） |